

福井市足羽山におけるツマグロヒョウモンの記録

長 田 勝*

ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius* Linnaeus は、暖帯～亜熱帯的環境に生息するヒョウモンチョウで、日本列島はその分布北限にあたる。西南日本ではいわゆる普通種であるが、北陸地方では普遍的な種ではない。本州における越冬・土着地の北限は年により多少の変動が見られるようであるが、分布北限の境界は日本海側では福井県南部とされている（福田ほか，1983）。

福井県の嶺南地方では従来より採集・目撃情報が知られているが、嶺北地方の記録は少なく、「福井県昆虫目録第2版」（1998）には、福井市国見岳（1♀，22.VII.1992），福井市足羽山（1♂，7.IX.1991），大野市南六呂師（1♂，1.IX.1994），大野市南六呂師神明山（1♂，13.VII.1995），和泉村下半原（1♀，25.VII.1993）の記録が散見されるにすぎない。しかし、水野ほか（1999）によれば最近数年間は石川・富山両県で記録が増え、富山県では1998年は異常発生ともいえるほど多数の個体が目撃・採集されているという。また、当館協力員の下野谷豊一氏によると数年前に福井県内でも多発したことがあった、とのことである。上記の大野市南六呂師，和泉村下半原の採集記録はその時期に相当するものであろう。

このようなことから、北陸地方全般にわたってツマグロヒョウモンの北進傾向が見られるといえる。近年、日本各地でチョウの北進現象が話題になっているが、福井県ではナガサキアゲハの北進が注目され（長田，1998），ツマグロヒョウモンについても北進傾向が今後も加速されるのかどうか興味深いものがある。

1999年の夏は、足羽山の自然史博物館周辺でもツマグロヒョウモンを見る機会が多くなり、他のチョウが見られなくても本種は2～3頭飛んでいるという状況が続いていた。小学生が夏休みの宿題として作製した昆虫標本の中にも必ずといってよいほど1～2頭の標本が含まれていたため、この夏は福井市内の各地でツマグロヒョウモンがありふれた存在になっていたことがうかがわれる。

以下に、筆者の足羽山における採集・目撃記録を記しておく。

(1) 自然史博物館前の広場（通称、三段広場）

1♂・1♀目撃，17.VIII.1999	1♂目撃，31.VIII.1999
1♂，18.VIII.1999	1♂目撃，1.IX.1999
2♂目撃，20.VIII.1999	3♂，12.IX.1999
1♂，28.VIII.1999	

雄は定位置に止まり占有行動をする個体が見られた。採集個体には大破したものが含まれる。

* 福井市自然史博物館（〒918-8006 福井市足羽上町147）

(2) 福井市足羽1丁目運正寺南側の南墓地

3 ♂ 1 ♀, 29.IX.1999

2 ♂ 1 ♀, 30.IX.1999

2 ♂ 目撃, 5.X.1999

採集個体はいずれも新鮮であった。採集した個体のほかに9月29日は3 ♂ 1 ♀を目撃, 9月30日は1 ♂ 1 ♀を目撃した。

雌雄ともキバナコスモスで吸蜜していることが多く, 雌は墓石の間を緩やかに飛翔しては地面に止まる行動をくり返す個体が見られた。また, 墓地内にはスマレ類(葉は長三角形)が見られ, ツマグロヒョウモンの幼虫によるものと思われる食痕が残されていたことから, この墓地で発生した可能性がある。

(3) 福井市足羽5丁目のセツ尾口坑道(笏谷石採掘跡)付近

2 ♂ 目撃, 9.X.1999

(付記) 1999年10月17日, 大野市刈込池での自然観察会の際, 刈込池への登り口にある鉄の橋のたもとで, 極めて新鮮なツマグロヒョウモンの雌を1頭目撃した。林道脇で吸水していたようで, 飛び立った時に腹端から少量の水滴を放出した。

この日, 白山では初冠雪が見られ, 翌18日の福井県地方は上空に寒気が入りこんだため嶺北地方を中心に気温が下がり, 最低気温が福井市で9.9℃, 大野市で7.8℃と報道された。

また, 11月6日, 運正寺南墓地で2齢と思われる若齢幼虫(体長約7mm)を2頭発見した。墓地の一角にあったスマレ類はほとんどすべての株が食べ尽くされ, 幼虫のうち1頭は枯れかけた花茎に, 他の1頭は小石の上に静止していた。この2頭の幼虫は飼育のため持ち帰った。

引 用 文 献

- 福田晴夫・浜 栄一・葛谷 健・高橋 昭・高橋真弓・田中 蕃・田中 洋・若林守男・渡辺康之, 1983. ツマグロヒョウモン. 原色日本蝶類生態図鑑(Ⅱ). 保育社:109-112.
- 水野 透・大野 豊・澤田昭芳・根来 尚, 1999. ツマグロヒョウモン. 富山県の蝶(Ⅱ). 富山市科学文化センター収蔵資料目録(12):115.
- 長田 勝, 1998. 福井県におけるナガサキアゲハの進出. 昆虫と自然, 33(14):17-18.
- 下野谷豊一・浅野裕治, 1998. チョウ目. ツマグロヒョウモン. 福井県昆虫目録(第2版). 福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会編, 556pp. 福井県:482.

福井市足羽山におけるツマグロヒョウモンの記録

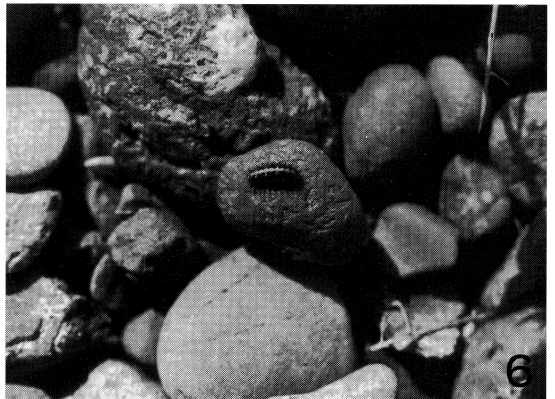
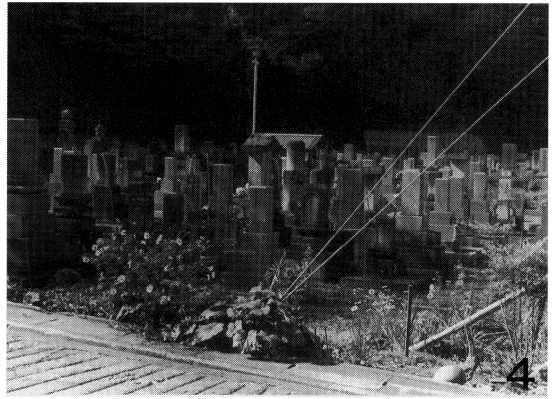
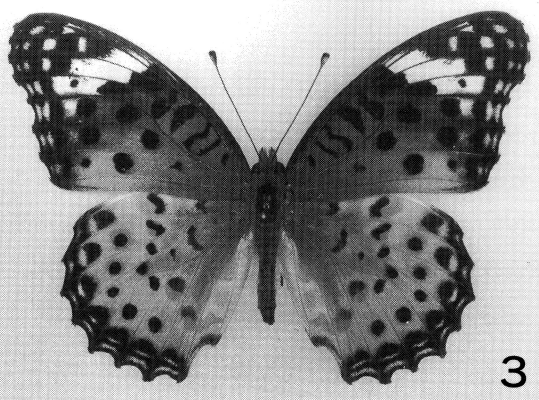
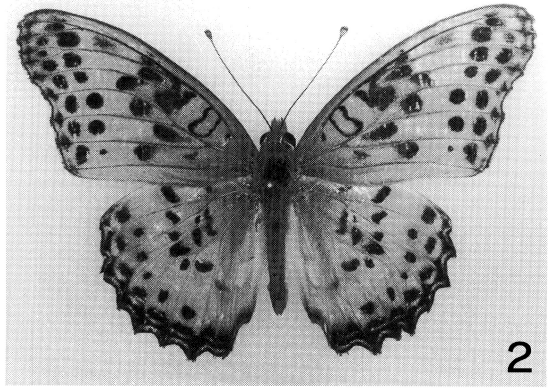
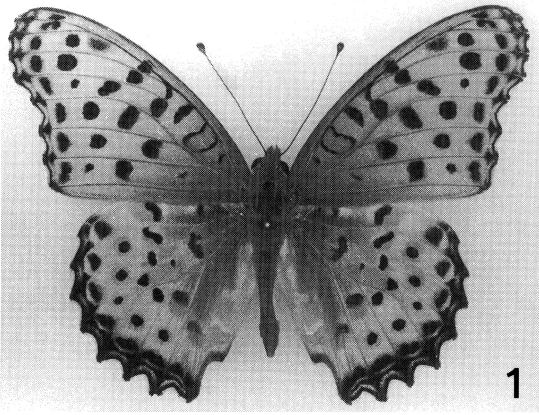


図1：ツマグロヒョウモン♂。1999年9月29日。運正寺南墓地。

図2：同♂（前翅中室端の黒紋が発達した個体）。1999年9月29日。運正寺南墓地。

図3：同♀。1999年9月29日。運正寺南墓地。

図4：成虫が多く見られた運正寺南墓地。

図5：スマレ類の花茎に静止する若齢幼虫。1999年11月6日。運正寺南墓地。

図6：小石に静止する若齢幼虫。1999年11月6日。運正寺南墓地。